## ５．大阪商業大学での起業教育取組紹介

### ①第14回 全国高等学校ビジネスアイディア甲子園



大阪商業大学では、世に役立つ人物の養成という建学の理念のもと、実学教育の実践に注力してきました。本学では、実学教育のひとつとして、起業教育を行っています。本学の起業教育では、本学学生向けの取り組みだけでなく、産学および産官学連携、高大連携の取り組みも行っています。本学は、高大連携の取り組みの一環として、平成 14 年から全国高等学校ビジネスアイディア甲子園を開催してきました。全国高等学校ビジネスアイディア甲子園は、全国の高校生を対象に新しい商品やサービスに関するアイディアを募集するコンテストです。




第 14 回全国高等学校ビジネスアイディア甲子園を開催し、151 校から、7,475 件のビジネスアイディアの応募がありました。審査は応募書類による事前審査、１次審査、２次審査を経て、書類審査とプレゼンテーション審査による最終審査となります。最終審査には、様々な知識を持った審査員でより公正かつ公平な審査を行っています。



最終審査および表彰式では、記念講演をハードロック工業株式会社代表取締役社長 若林克彦氏からアイディアを商品化につなげた経験などをお話しいただきました。

また、表彰式後に交流会の中で京都しゃぼんやのご協力を得て石けん手づくり体験を開催しました。



**総　括**



第 14 回全国高等学校ビジネスアイディア甲子園は、平成 27 年 9 月 1 日（火）から募集を開始し、平成 27 年 9 月 28 日（月）に応募を締め切りました。応募総数 7,475 件から、事前審査、1 次、２次審査を経て、最終審査にアイディア作品 6 件がノミネートされました。



最終審査および表彰式は、平成 27 年 12 月 12 日（土）に本学のユニバーシティホール蒼天にて行われました。最終審査では愛知県立豊橋工業高等学校グループ名「ＴＥＳＴ（Toyohashi Engrineer Students Try）」代表者 鈴木 崇弘さん、今泉 拓海さんのアイディア名「四季ファニチャー」がグランプリに輝きました。

また、記念講演では、ハードロック工業株式会社代表取締役社長 若林克彦氏より「オンリーワン商品開発の秘訣」のタイトルで講演をいただきました。

交流会では、生徒たちが京都しゃぼんや株式会社 Kyoto Natural Factory 常務取締役 谷口太郎氏の協力のもと、石けん手づくり体験として石けん素地に好きなアロマオイルを加え型に流すとオリジナルなハンドソープとして使用できる石けんをつくりました。石けん手づくり体験を通じて全国の高校生同士が交流する機会となりました。



ビジネスアイディア甲子園の運営は、本学の学生を対象に実施している「大商大ビジネス・アイディアコンテスト」の入賞した学生らが会場の設営、受賞者・審査員の誘導、司会、ステージマネジメント、賞状授与のサポートなどを担当しました。この取組は高校生に一番近い年齢であり、ビジネス・アイディアコンテストを経験している



という立場から接することができるとともに、学生自身の能力を発揮する場として、また入賞者同士の輪をつなぐきっかけとして取り組み、今後もより充実したつながりに成長させていきたいと考えています。

## 受賞作品

**★グランプリ（１件）**

**「四季ファニチャー」**

愛知県立豊橋工業高等学校　３年

グループ名「ＴＥＳＴ（Toyohashi Engineer Students Try）」

代表者　鈴木 崇弘さん　今泉 拓海さん



鈴木さんの母親が、衣替えの時に「服の入れ替えが大変」と話していたのがきっかけで生まれたアイディアを今泉さんと２人で練った。

考案したのは正方形の収納家具で、引き出しの中が四つに仕切られ、季節によって向きを変えることができる。市販品を調べてみると、２面に引き出しがあり、タンスの向きを入れ替えて使うものがあった。しかし、タンスごと向きを変えるのは大変なはずと、引き出しを正方形にすることで、引き出しのみ向きを変えられるように工夫した。

授業で習ったコンピューター支援設計システム（ＣＡＤ）を活用し、自分たちで実際に作った家具を見せながらプレゼンテーションを行った。「ミスしたり大変だったが、引き出しをカラフルに塗り分け、インテリア性もアピールした」と振り返る。

卒業後はメーカーに就職予定の今泉さんは「自分の考えをわかりやすく伝える大切さなどを実感した。今後に役立てていきたい」と語ってくれた。

**★準グランプリ（２件）**

**「Ｌａｄｌｅ ｃｈａｎｇｅ（レイドル チェンジ）」**

群馬県立安中総合学園高等学校　３年

グループ名「黒武山エクストリーム」

代表者　黒澤 忍さん　山際 瞬兵さん

武井 ゆずきさん



家で鍋料理をした時、「お玉杓子が１種類で済んだらいいのに」と考えついたという黒澤さんのアイディアを基に３人で議論を重ねた。

普通タイプと網目タイプを二重の構造にしてスライドさせ、あく取りの時は網目を、汁をすくうときは普通のものと使い分けられるようにした。

山際さんは「プレゼンテーションで緊張して、全然うまく話せなかったのに、賞をもらえてびっくり」と話す。武井さんは「実際にうまくスライドできるか、理論的に考えるのが大変だった」と感想を述べた。

**「ラクドリー」**

大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校　１年

寺阪 花帆さん



小柄な寺阪さんは、夏休みに洗濯物を物干しにかけようとして「背が低い人でも干しやすくできれば」と思いついた。ハンガーを家のような形にし、物干し棒に下から押し入れるようにした。

同級生にアンケートをして、１軒にどのくらいハンガーがあるかをリサーチしたり、簡単な原価計算や収益性の説明を盛り込んで最終審査に臨んだ。１年生のため、パワーポイントの使い方にも四苦八苦しながらも、プレゼンテーションは見事にまとめ上げられていた。「引っ込み思案なので、人前で発表するのはいい経験になった」と笑顔を見せた。

**★審査員特別賞（３件）**

**「ミラクルボウル」**

福島県立郡山商業高等学校　３年

近内 早紀さん



温度を変えることができる調理用ボウルは、自分の料理経験から生まれたアイディア。料理にあわせてリモコン一つでボウルの温度を変えることができ、さらに太陽光や照明などで発電ができる防水パネルをつけたり、シリコン製カバーでやけど防止とすべり止めなどの機能をプラスしたアイディア。

**「色が変わる手洗い石けん」**

長野県穂高商業高等学校　３年

今溝 優香さん



粉末石けんに星形などの固形石けんを混ぜあわせ、水につけると色が変わるという衛生用品のアイディア。粉末と固形石けんが上手く混ざると泡だち、固形石けんが溶けたら手洗い完了の目安となる。若い女性や子どもを持つ母親をターゲットに設定し、楽しみながら少しでも長く手洗いをして欲しいという思いがこもっている。



**「テーブル内蔵型（紙）神ナプキン」**

愛知県立豊橋工業高等学校　３年

グループ名「きれいに食べ隊」

代表者　菰田 泰治さん　大村 拓巳さん



食事中の飛び跳ねによる衣服の汚れを防止する紙ナプキンを、ロール状にしテーブルの下に予め設置しておくという、既存の商品をベースに使い手がさらに便利になるようにと進化させている。商品の形状や使用中・使用後に至る過程において簡単で便利であることを目指した商品アイディア。

**★学校賞　21 校**

明桜高等学校（秋田県）
福島県立郡山商業高等学校
東京都市大学等々力中学校・高等学校（東京都）
東京都市大学付属中学校・高等学校（東京都）
富山県立富山北部高等学校
長野県穂高商業高等学校
愛知県立愛知商業高等学校
愛知県立春日井商業高等学校
滋賀県立長浜北星高等学校
大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校
大阪府立貝塚高等学校
大阪府立登美丘高等学校
好文学園女子高等学校（大阪府）
大阪商業大学高等学校（大阪府）
大阪商業大学堺高等学校（大阪府）
岡山県立岡山東商業高等学校
岡山県立岡山南高等学校
岡山県立倉敷商業高等学校
岡山県立津山商業高等学校
九州産業大学付属九州高等学校（福岡県）
別府溝部学園高等学校（大分県）





☆学校賞☆　21 校の中から

別府溝部学園高等学校　白井由紀子先生

４年ほど前から応募し始め、２年連続で学校賞に選ばれ喜んでいます。最初はみんなアイディアを考えるのに苦労しますが、少しずつものづくりに関心を持つ子もいます。普段の授業の成績と関係なく、創意工夫は得意という子もいるなど、生徒の違う一面を発見でき、面白いですね。

最終審査に残ることを一つの目標にしていますが、実際に他校の最終審査のプレゼンテーションなどを見ると、その素晴らしさに感心します。もっとほかの教科の先生や、地域の人たちを巻き込んだ取り組みにできればと考えています。

【講評】審査委員長　大阪商業大学経済学部　柴田孝准教授

６件のプレゼンテーションはいずれもレベルが高く、差をつけがたかった。日常生活の中で、自分や家族らがどう困っているかを、アイディアにつなげながら、市場調査や原価計算、試作品を作ってくるなど、書類審査では表現し切れていなかったものが、より具体的になっていて素晴らしかった。

実は最終審査に残らなかったものの中にも、すばらしいアイディアがあったかもしれない。企画段階では否定されたものがヒットするというのはよくある。今回の経験をきっかけに、世の中に求められるアイディアが出てくることを願っている。




学生運営スタッフの紹介

上段左側から

経営学科１年　藤川功基
経営学科３年　池田裕也
商学科　４年　坂本達也
経営学科４年　石田幸多

下段左側から

経営学科４年　長谷川雄基
商学科　１年　稲岡保准
経営学科２年　伊集大悟
経済学科４年　片岡長祥
商学科　３年　平峠佑望